

パネル⑭ グリーンホールが立地する調布駅周辺の状況

○調布駅周辺の様子

現在も調布駅周辺地区は発展し続けています。



調布駅北第1A地区
第一種市街地再開
発事業



調布駅北第1B地区
第一種市街地再開
発事業



駅前広場整備事業 (R7年度完成予定)



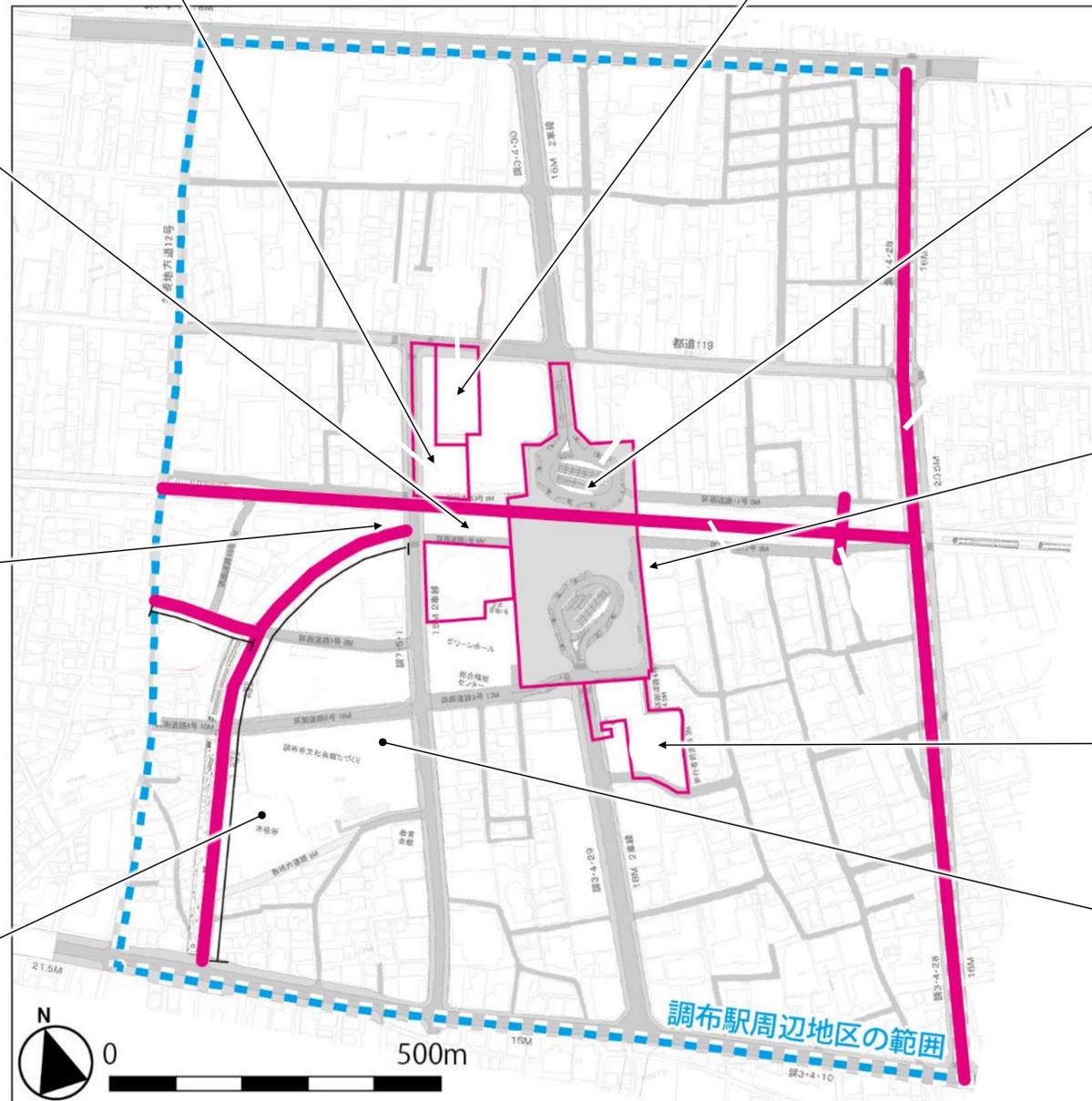
調布駅南第1地区第一種市街地
再開発事業



トリ工京王調布



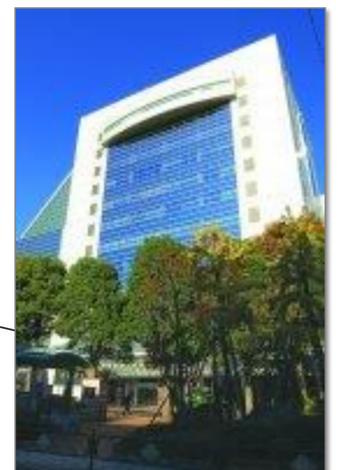
京王線連続立体交差事業により
創出された鉄道敷地の利用



調布駅南口東地区
第一種市街地再開
発事業



調布市役所



文化会館たづくり

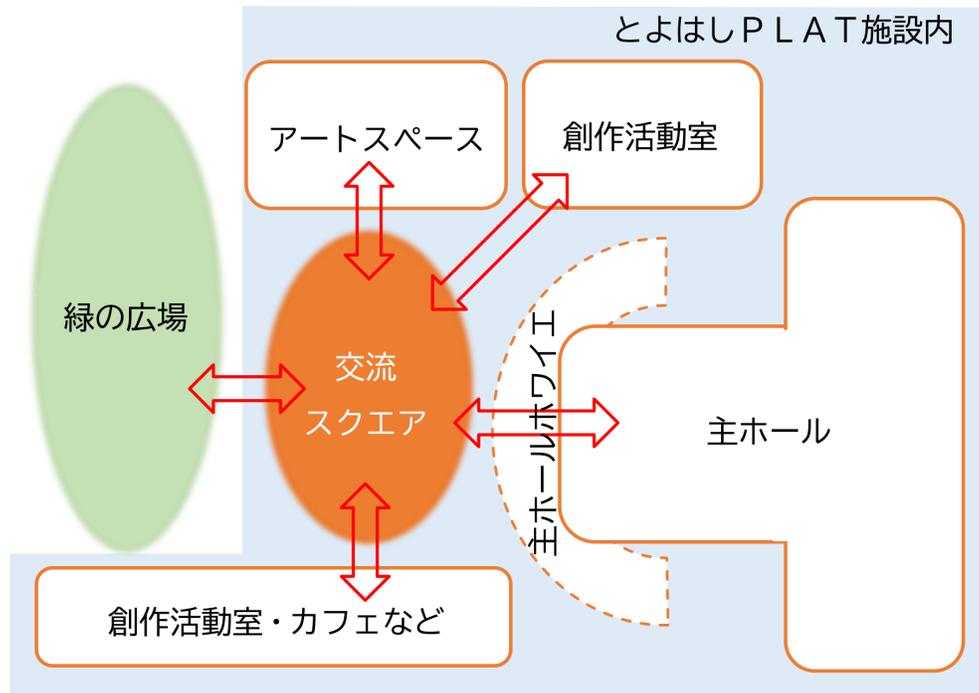
グリーンホールの立地を生かし、まちの魅力を高めるには、どのようなホールがあると良いのでしょうか？

パネル⑮ 他ホールの事例（賑わいの創出）



穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

ロビー部分のオープンスペースは、“芸術文化創造活動施設”の一つとして位置付けられ、イベントや展示にも活用されている。主ホールホワイエ、アートスペース等がオープンスペースを取り囲むように配置されており、賑わいの中心となっている。



東京建物 Brillia HALL

建物の面する公園に在る方にも見えるよう大型ビジョンが設置されている。ホールそのものの場所がひと目でわかるだけでなく、上演内容の案内などを来館者や通行者に広くアピールできる装置となっている。



KAAT神奈川芸術劇場

神奈川県立施設とNHK横浜放送局の複合施設であることを生かし、共用の1階エントランスロビーでイベントが行われている。

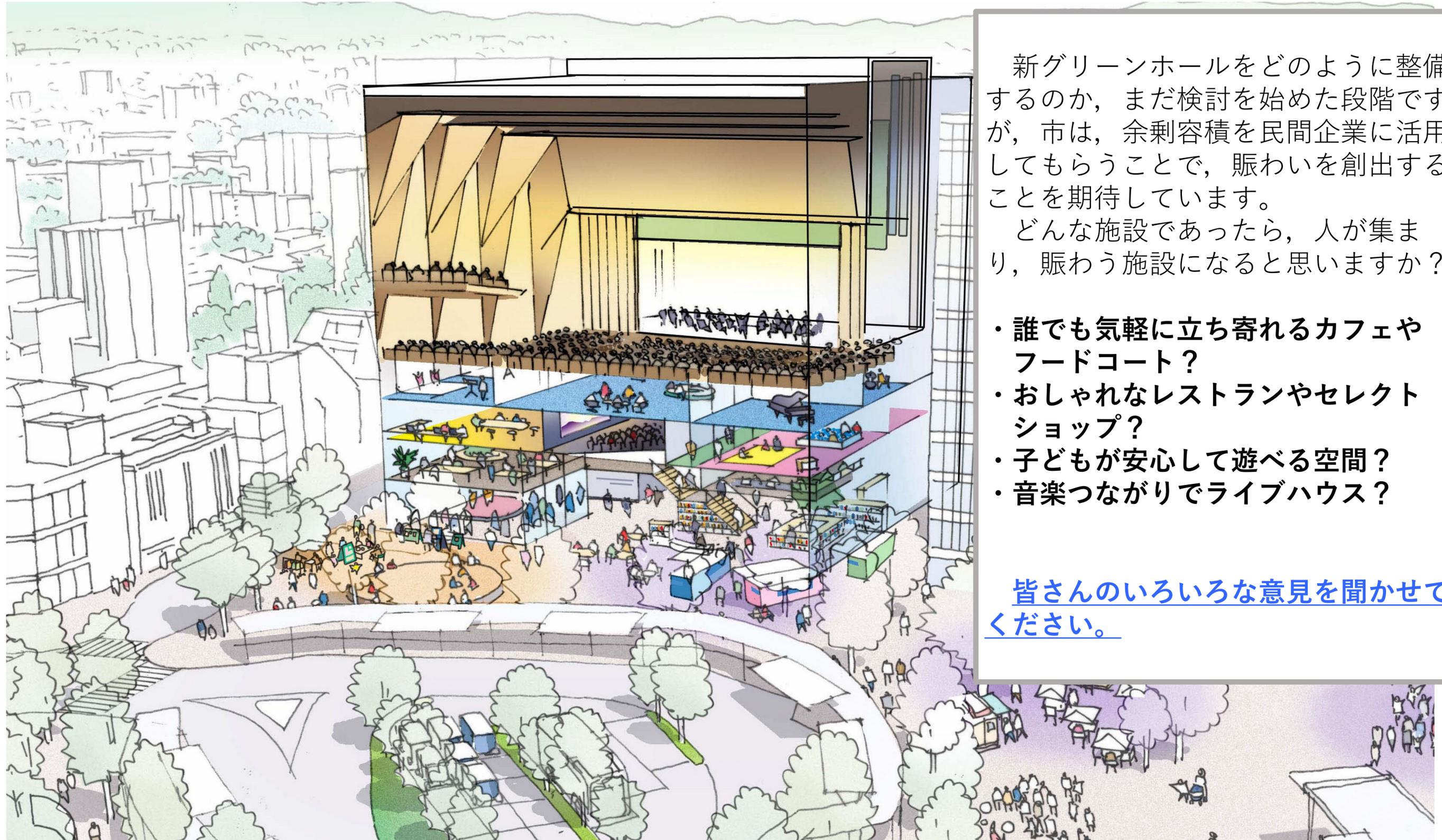


THEATER MILANO-Za（東急歌舞伎町タワー）

建物の面する広場とのつながりを感じられるような開放的な意匠となっているほか、テラスや店舗、ビジョン等を配置し、施設内の賑わいを積極的に外へ開く作りとなっている。施設に面した広場を客席と見立て、客席に面してビジョン（約200㎡）、ステージ（約150㎡）を配置することで、民有地と公有地が一体となった「屋外劇場的都市空間」を形成している。

パネル①⑥ 新たなグリーンホール複合施設による賑わいの創出に向けて

駅前にホールを含む建物を整備する場合、どんな施設が欲しいですか？



新グリーンホールをどのように整備するのか、まだ検討を始めた段階ですが、市は、余剰容積を民間企業に活用してもらうことで、賑わいを創出することを期待しています。

どんな施設であったら、人が集まり、賑わう施設になると思いますか？

- ・誰でも気軽に立ち寄れるカフェやフードコート？
- ・おしゃれなレストランやセレクトショップ？
- ・子どもが安心して遊べる空間？
- ・音楽つながりでライブハウス？

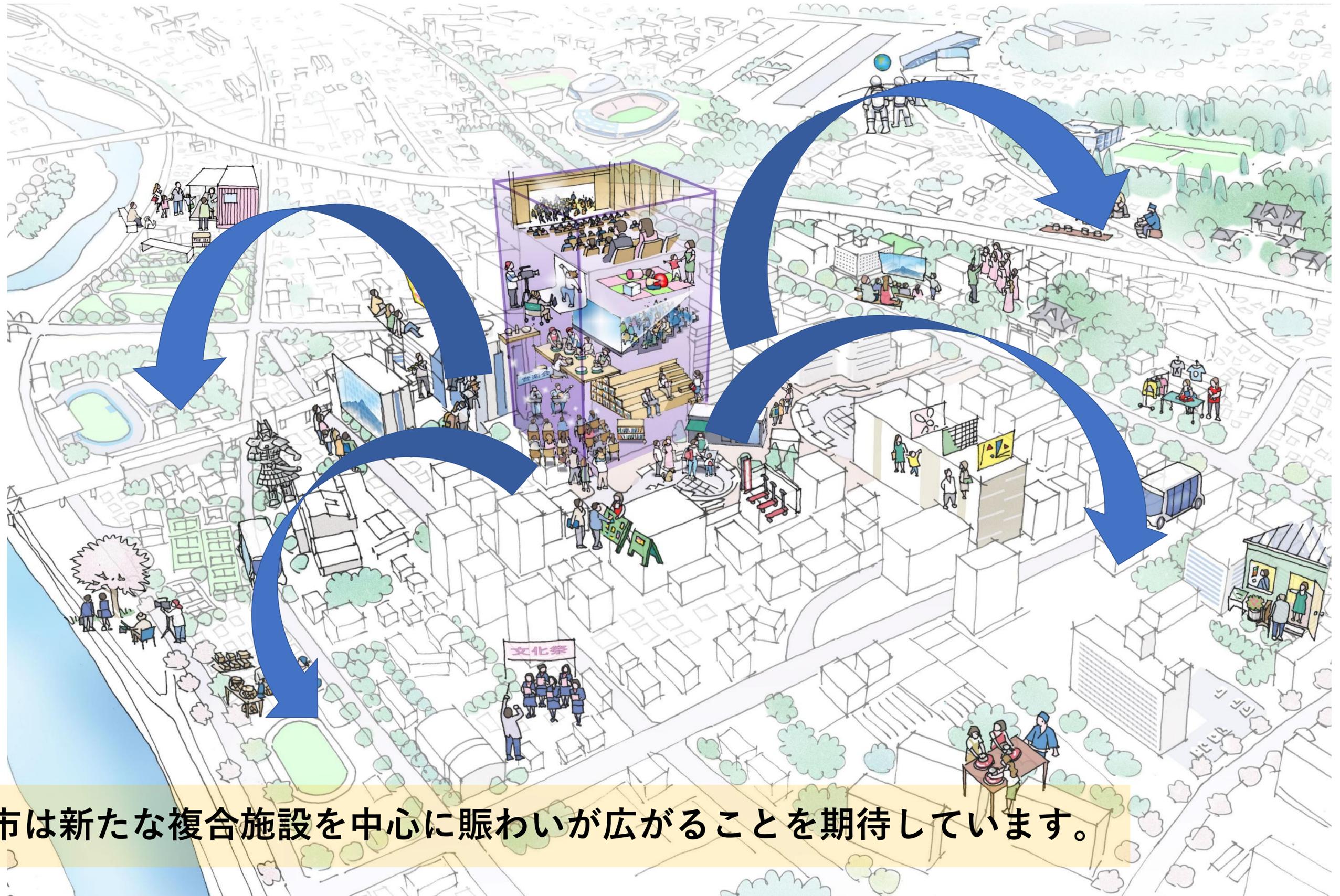
皆さんのいろいろな意見を聞かせてください。

この画像はイメージです。

駅前広場とどんな連携ができればいいですか？



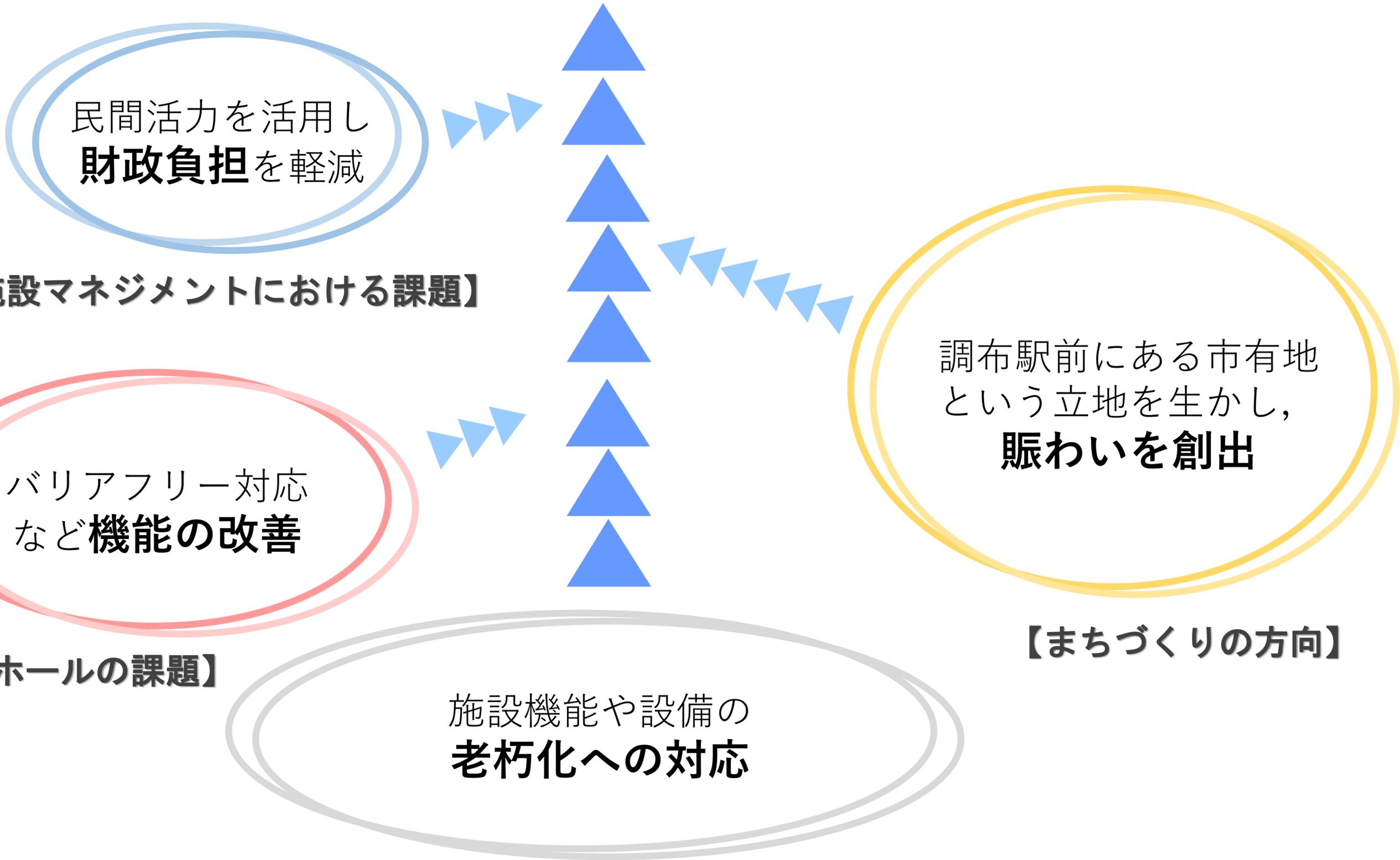
パネル⑱ 新たなグリーンホール複合施設による賑わいの創出に向けて (つづき)



市は新たな複合施設を中心に賑わいが広がることを期待しています。

この画像はイメージです。

ホールを含む複合施設として民間活力による整備を検討しています



民間活力を活用し
財政負担を軽減

【公共施設マネジメントにおける課題】

バリアフリー対応
など**機能の改善**

【グリーンホールの課題】

施設機能や設備の
老朽化への対応

調布駅前にある市有地
という立地を生かし、
賑わいを創出

【まちづくりの方向】

パネル⑳ 新たなグリーンホール整備に向けたスケジュール案

現時点で予定している事業スケジュール案は以下のとおりです。

	令和5年度 2023年度	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度	令和10年度 2028年度	令和11年度 2029年度	令和12年度 2030年度
市民参加・検討会	市民参加 ・有識者検討会							
ホール機能 ・事業手法の検討	ホール機能 ・事業手法の検討							
基本構想の策定 ・事業者選定	基本構想の策定・事業者選定							
基本設計・実施設計 ・施設建設				設計		施設建築		

このスケジュール案は、確定したものではありません。